

●お問合せ先●

関係課名	関係係名	電話番号 (市外局番 042)	内容
街づくり事業課	事業計画係	481-7587	全般に関すること
	整備係	481-7417	道路整備に関すること 駅前広場に関すること 鉄道敷地に関すること
	測量係	481-7445	各事業の測量に関すること 狭あい道路に関すること
交通対策課	自転車対策係	481-7420	自転車等駐車場整備に関すること
道路管理課	維持管理係	481-7405	道路の維持管理に関すること
都市計画課	都市計画係	481-7453	地区計画に関すること

平成 25 年 10 月発行
 平成 27 年 1 月改訂
 平成 27 年 5 月改訂
 平成 27 年 7 月改訂
 令和 3 年 3 月改訂

登録番号
(刊行物番号)

2020-169

中心市街地のまちづくり

- ① これまでの取組と目指すまちの姿
- ② 各駅周辺のまちづくりの目標
- ③ 鉄道敷地の整備
- ④ 中心市街地まちづくりプログラム

調布市

これまでの取組

- 市は、「調布市都市計画マスタープラン（平成26年9月改定）」の将来都市構造で「中心市街地」を位置付けています。
- また、京王線連続立体交差事業と一体となったまちづくりを推進し、将来にわたって快適に住み続けられるまちの形成を目指し、まちづくりを計画的、総合的に進めるための基本となる計画として、「中心市街地街づくり総合計画（平成12年3月）」を策定しました。
- この計画では、まちづくりの熟度や時間的要素等を十分考慮し、弾力的・段階的にまちづくりを進める整備の考え方を示しており、まちづくりの整備期間の目標を20年間とし、4段階に区分しています。
- 現在は、京王線の地下化や市街地再開発事業完了など、整備事業に着手し、地区全体のまちづくりを完成させていく段階となっています。

段階整備の考え方

第1段階 調査・計画策定及び都市計画決定の段階

- ・京王線連立事業に先行して都市計画決定した面的整備事業の実施
- ・京王線連立事業及びこれと同時に実施すべき事業の都市計画決定
- ・合衆形成が図られた面的整備事業や都市基盤整備事業の基本計画等の作成

第2段階 先導的整備事業の事業着手の段階

- ・第1段階で都市計画決定を行った事業の着手
- ・合衆形成が図られた面的整備事業の都市計画決定等
- ・優先順位の高い事業の着手

第3段階 地域全体にまちづくりを波及させていく段階

- ・先行した整備事業の効果を受け、地元が合衆がった地区から順次面的整備事業の都市計画決定
- ・都市基盤及び建築物の共同化・協調化等の事業の地区全体への展開

第4段階 まちづくりを完成させていく段階

- ・整備事業すべてに着手し、地区全体のまちづくりを完成させていく段階

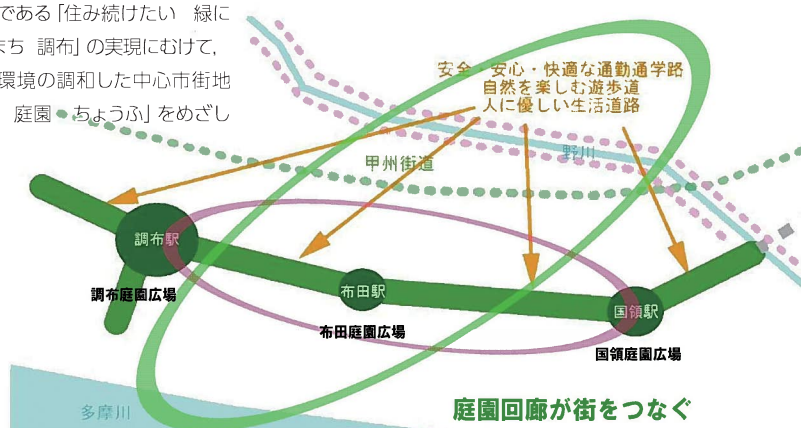
10年間

10年間

出典：「中心市街地街づくり総合計画（平成12年3月）調布市」

中心市街地デザインコンセプト（2009年7月）

- 将来都市像である「住み続けたい 緑につつまれるまち 調布」の実現にむけて、にぎわいと環境の調和した中心市街地「にぎわい 庭園・あようぶ」をめざします。



目指すまちの姿

- 平成24年8月、京王線連続立体交差事業によって、京王線の柴崎駅～西調布駅間の約2.8kmと、相模原線の調布駅～京王多摩川駅間の約0.9kmの地下化が実現しました。これにより、交通渋滞の解消、歩行者・自転車の安全性の向上、分断されていた市街地の一体化、鉄道敷地の有効活用など、調布市のまちづくりは、目に見える形で躍動的に進展しています。
- 調布市基本計画では、計画期間内（令和元（2019）年度～令和4（2022）年度）に特に重点的に取り組むべき主要事業について、優先性を踏まえた選択と集中の観点から重点プロジェクトとして位置付けています。利便性と快適性を兼ね備えた、にぎわいと交流のある都市空間の創出、様々な都市機能の集積により、魅力ある市街地の形成が図られています。

重点プロジェクト
4

にぎわいと交流のある活気に満ちたまちをつくるプロジェクト

● 重点プロジェクト事業 ●

まちの活力を生み出す
都市をつくる

- 駅前広場の整備
- 鉄道敷地の整備
- 中心市街地における区画道路等の整備
- 道路網計画に基づく計画的な道路ネットワークの形成
- 自転車等駐車場の整備・有料化

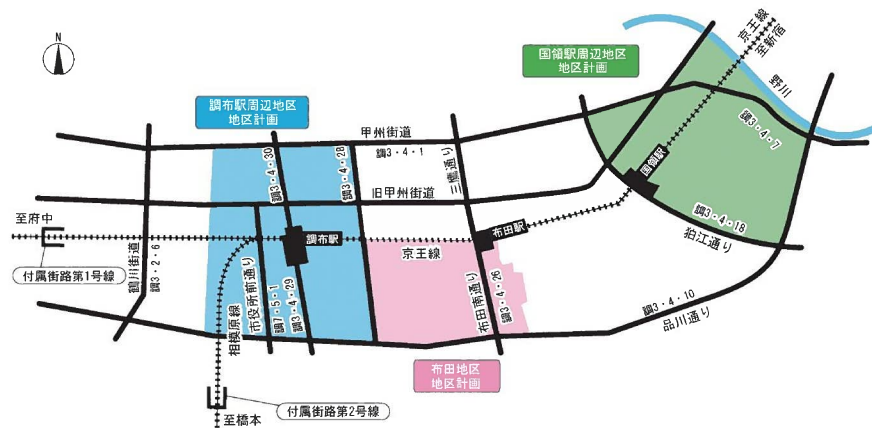
にぎわい・交流のある
まちをつくる

- 商店街活性化の推進
- 中小企業・小規模事業者の支援
- 東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出
- 「映画のまち調布」の推進

出典：「調布市基本計画（令和元年（2019）年度～令和4年（2022）年度調布市）調布市」



市は、調布駅、布田駅及び国領駅の周辺について、地区計画を定め、地区にあったまちづくりを進めています。

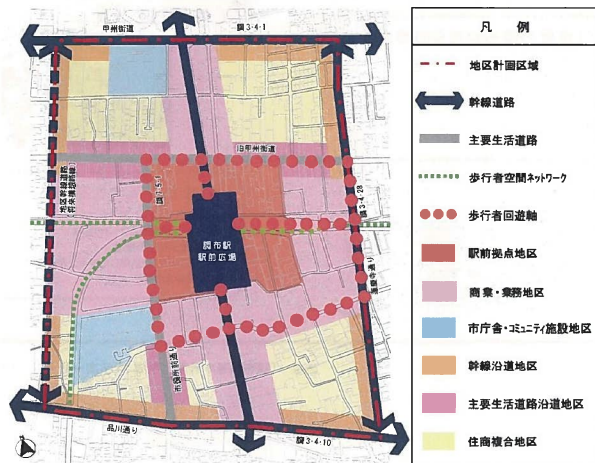


調布駅周辺地区

調布駅周辺地区は、市の行政・文化・コミュニティの中心地であるとともに、多摩地域内の主要な玄関口、交通ターミナルにふさわしい広域的な拠点としての整備が見込まれています。

このため、道路等の都市基盤施設の整備と

市街地再開発事業等による土地の有効・高度利用を図り、商業・業務機能や都市型住宅の立地を誘導するなど、商業・業務・文化・居住等の生活機能がバランスよく整えられた、身近な生活圏の中心として魅力ある市街地の形成を目指します。

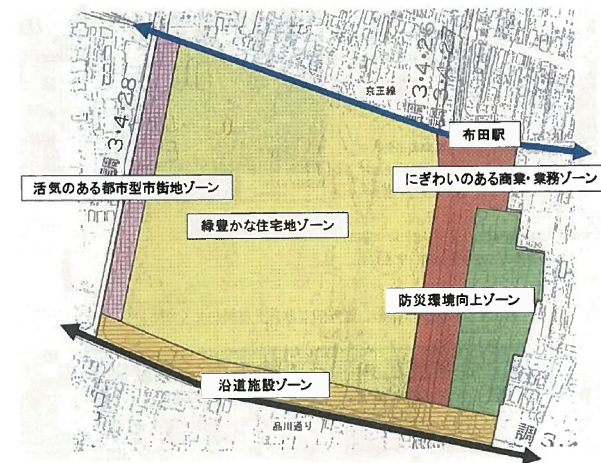


布田地区

布田地区は、調布市総合計画及び調布市都市計画マスタープランにおいて、南部地域に指定されており、緑・住・働のバランスのとれたまちづくりを目指しています。しかし、中高層マンションなどの開発が進むなど市街化傾向が高まっており、このまま計画的なまちの誘導をしなければ、無秩序な市街地が形成されること

も懸念されます。

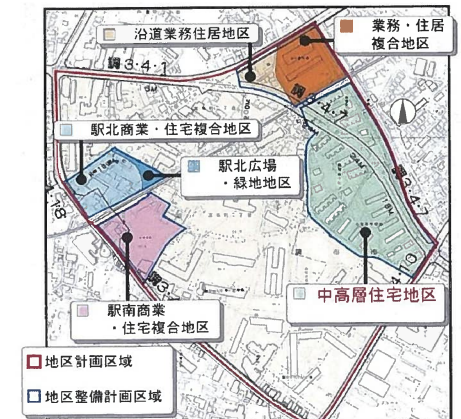
このため、保存樹木や生産緑地等を尊重した緑豊かでうまいのある住宅市街地を基本としつつ、日常生活に密着した商業・業務施設や良好な居住環境を保った都市型住居の誘導を図り、地区全体が魅力的で安全・快適なゆとりある市街地形成を目指します。



国領駅周辺地区

国領駅周辺地区は、調布市の中心市街地の東に位置し、商業、住宅、業務、文化、コミュニティなどの機能を備えた魅力的な市街地環境の形成が求められています。

一方、野川をはじめとした周辺の自然環境と調和した緑豊かなゆとりある住環境も求められています。このようなことから、「緑豊かで、人にやさしく、にぎわいあふれるまち・国領」を目指します。



鉄道敷地利用計画図



令和2年11月

- 京王線連続立体交差事業により生み出された貴重な都市空間を有効に活用し、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間として、鉄道敷地の整備に取り組んでいます。
- 平成27(2015)年度から令和6(2024)年度までの10年間で段階的に整備を進めています。



障害者地域生活・就労支援センター ちようぶだぞう



鬼太郎ひろば



布田東路上自転車等駐車場



鉄道敷地公園(相模原線)整備

● 市民参加の経緯 ●

- 平成17年3月
鉄道敷地利用に向けての提言書の提出(鉄道敷地利用検討会)
- 平成18年
鉄道敷地利用に関するアンケートの実施
- 平成18年7月～平成19年1月
鉄道敷地利用に向けての地元勉強会の実施
- 平成21年7月
中心市街地デザインコンセプトの策定
- 平成28年3月
鉄道敷地整備計画の策定
- 令和2年12月
鉄道敷地整備に関するオープンハウス開催

凡例

■	都市公園等
■	緑道、生活道路等
■	自転車駐車場等
■	駅舎施設
■	商業施設等
■	公共施設等
○	連立解消路切